

おがわらこニュース 平成29年 3月 第18号

水門等水位観測員講習会を開催

高瀬川河川事務所が管理する高瀬川・小川原湖の水門等水位観測員の講習会が、平成29年2月21日に開催されました。

高瀬川・小川原湖には、高瀬川河川事務所が管理する水門（すいもん ひもん樋門を含む）施設が8箇所あり、各施設に「水門等水位観測員」（16名）が配置され、洪水や高潮の時には水位を監視し、川の水（湖水）が住居区域や田んぼへ流れ込まないように操作をします。

観測員は、増水した時など昼夜を問わず担当する水門の操作・水位観測等を行っています。また、施設が正常に機能するよう日常の点検を行い、地震の時には、施設が被災していないか臨時の点検も行っています。

こうした観測員の方々の尽力により、地域の安全が確保されています。

今回の講習会では、施設の日常点検の方法、施設操作・情報伝達の手順などの確認を行い、いざという時に適切に対処できるよう、観測員の業務について再確認を行いました。



▲講習会の様子

水門(すいもん) 樋門(ひもん)とは 何ですか？



市柳川水門

河川や水路を横断して設置される制水施設。
※設置地点に堤防があれば堤防を分断して設置。

目的は、逆流防止（洪水、高潮、津波）。
水門を閉じた状態では堤防の機能を有する。
管内では「水門」1箇所を管理しています。



平沼第一排水樋門

堤防の中にコンクリート等の管やBOXの水路を通し、ゲートを有する施設。

目的は、用水又は排水。増水時にはゲートにより逆流防止。

管内では、水路から湖の方向へ流れる排水樋門7箇所を管理しています。

浚渫（しゅんせつ）工事が完了

小川原湖は高瀬川（約7km）を通じて太平洋に注ぐ汽水湖です。昨年の平成28年1月には、低気圧に伴う波浪により、高瀬川の河口に急激に砂が溜まり、河口が塞がって水位が上昇する事態が発生しております。

天候回復後、河口の砂を撤去する緊急作業を続けた結果、増水による被害を出すことなく対応することができました。

このような事態を受け、今年度、川底に溜まった土砂を取り去り、川の流れを改善する「浚渫工事」を実施しました。

浚渫ってなんだろう～

川底や海底の土砂をすくい取ることです。
※「浚」も「渫」も「さらう」意味のようです。

高瀬川の浚渫工事

高瀬川では、広い面積で大量の土砂を扱う場合に適している“ポンプ浚渫船”で施工しました。“ポンプ浚渫”は、土砂と水を一緒に吸い上げて掘り下げる工事です。

- (1) 船の先端にある吸水管を川底におろして作業を始めます。
- (2) 吸水管の先端についているカッターが回転して、川底の土砂を切りくずします。
- (3) 切りくずした土砂は、ポンプで水と一緒に吸い込み、長い排砂管（はいしゃかん）の中を通して、排砂場所で吐き出します。



※「おがわらこニュース」は、事務所HPでもご覧いただけます。

編集後記

年度末が近づき何かと忙しい時期になりましたね。そろそろ春の暖かい日が来ると思うと心がウキウキします。体調管理に気を配って元気に新年度を迎えましょう！
(松林)

発行

高瀬川河川事務所 小川原湖出張所
〒033-0021 三沢市岡三沢三丁目9-19
TEL:0176-53-3081 FAX:0176-52-9266
E-mail:thr-takasegawa01@mlit.go.jp
<http://www.thr.mlit.go.jp/takase/>